

Vivliostyle Themes ドキュメント

Table of Contents

| | |
|--|---|
| Vivliostyle Themes Vivliostyle Documentation | 3 |
| 公式 Theme の採用 Vivliostyle Documentation..... | 4 |
| Vivliostyle Themes ギャラリー Vivliostyle Documentation | 5 |
| Vivliostyle Theme の仕様 Vivliostyle Documentation | 6 |
| Theme の開発 Vivliostyle Documentation | 7 |

Vivliostyle Themes

Vivliostyle Themes



図 1: Vivliostyle Themes のロゴ

Vivliostyle Theme は、Vivliostyle で出版物を作る際に使うスタイルテーマです。Vivliostyle Themes を使うことで簡単に出版物のスタイルを変更することができます。

- Vivliostyle Theme の仕様
- **運用ガイドライン**
 - 公式 Theme の採用
 - Vivliostyle Themes ギャラリー

公式 Theme の採用

公式 Theme の採用

汎用的で多くのユーザが使うと思われる Theme は公式 Theme として採用します。公式 Theme は 1. <https://github.com/vivliostyle/themesvivliostyle/themes> レポジトリ^{*1} で管理され、`@vivliostyle/theme-*` という名前で npm package として公開されます。

採用条件

公式 Theme として採用する条件は以下の通りです。

- Theme のデザインと主な用途が、既存の公式 Theme と異なっていること
- Theme の仕様を満たしていること
- Contributor License Agreement に署名すること
- Code of Conduct に従うこと

採用方法

2. <https://github.com/vivliostyle/themesvivliostyle/themes> レポジトリ^{*2} に pull request を送ってください。

- Theme 名は `@vivliostyle/theme-*` とすること
- ソースコードを `packages/@vivliostyle/theme-*/` に含めること

公式 Theme に採用された場合、3. <https://github.com/vivliostyle/themesvivliostyle/themes> レポジトリ^{*3} のメンテナとして以下の権限が与えられます。

- レポジトリへの push
- issue のトリアージ
- pull request の review と merge

Vivliostyle Themes ギャラリー

Vivliostyle Themes ギャラリー

npm package として公開されている Vivliostyle Themes のギャラリーです。新しく公開されたテーマは 見つけ次第掲載していますが、掲載漏れを見つけた場合は 1. <https://github.com/vivliostyle/themes/issues>^{*1} や pull request をお願いします。

公式の Vivliostyle Themes

現在、5 つの公式のテーマがあります。

1. <https://www.npmjs.com/package/@vivliostyle/theme-bunko> [@vivliostyle/theme-bunko](https://www.npmjs.com/package/@vivliostyle/theme-bunko)^{*1}

日本語の縦書き小説などに向いています。ルビ、縦中横にも対応しています。

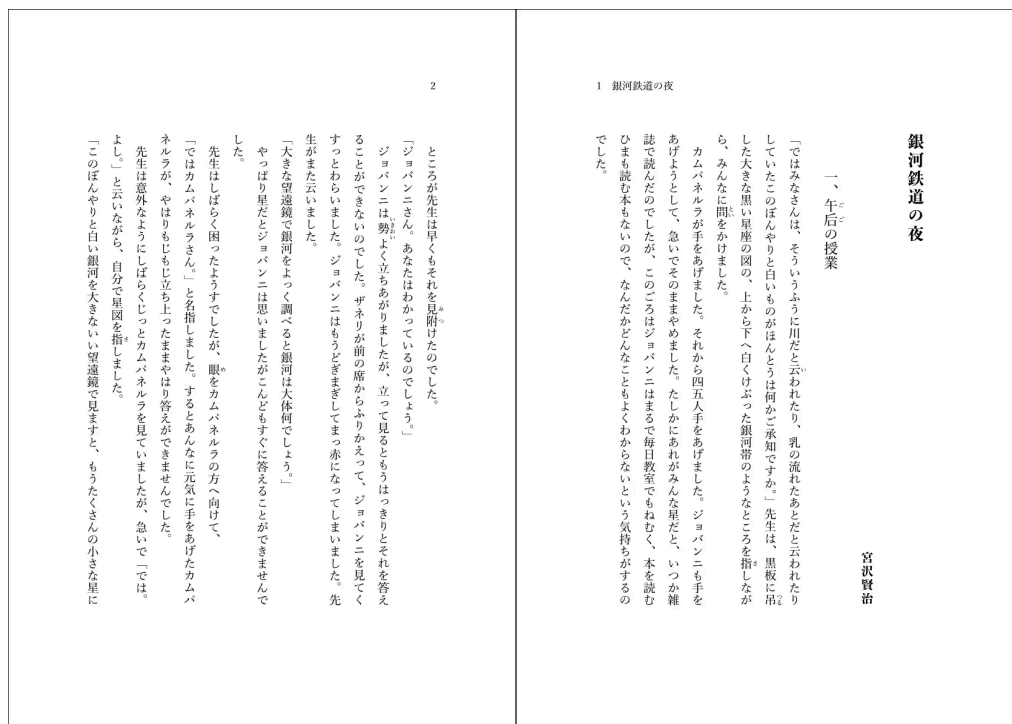


図 1: theme-bunko のサンプル画像。原稿は「銀河鉄道の夜」。

1. <https://www.npmjs.com/package/@vivliostyle/theme-slide> [@vivliostyle/theme-slide](https://www.npmjs.com/package/@vivliostyle/theme-slide)^{*1}

スライド資料などに向いています。表紙ページと一般ページでスタイルが変わります。

Vivliostyle Theme の仕様

Vivliostyle Theme の仕様

Vivliostyle Theme を npm package として公開する場合は以下の仕様に従ってください。1. <https://github.com/vivliostyle/themes/tree/master/packages/create-vivliostyle-theme>^{*1} を使うと、この仕様に従ったテーマを簡単に作成することができます。

テーマ名

テーマの名前は自由に決められます。ただし、以下の点を考慮することを推奨します。

- 用途が明確な場合は、用途を表す端的な用語を含める
- 変更可能なスタイルに関する用語を避ける
 - 出版物のサイズや組み方向などは、将来的には Vivliostyle Pub などユーザーが簡単に変更できるようになる予定です。したがって、これらの変更可能なスタイルに関する用語を使うことは避けてください。
- 避けるべき名前の例：vivliostyle-theme-a4book、vivliostyle-theme-tategaki など

テーマに含めるスタイル

テーマは、出版物の特定の部分のみ（図表のみ、脚注のみなど）のスタイルを含んだものではなく、出版物全体のスタイルを含めるものとします。

以下に、テーマに含めることが望ましい代表的なスタイルを示します。2. <https://github.com/vivliostyle/themes/tree/master/packages/create-vivliostyle-theme>^{*2} で作成したテーマの雛形はこれらのスタイルを含んでいます。

- ページ（余白、柱など）
- 見出し
- 段落
- 数式
- 図とキャプション
- 表とキャプション
- ソースコード
- 脚注
- ルビ

Theme の開発

Theme の開発

Theme を作成する

オリジナルの Theme を作る方法を説明します。

雛形をカスタマイズする

Theme を公開する
